1－1 市の位置

市役所の位置	市の大きさ
東　経　１３７度　２分　７秒	面積　２１．０３㎢
北　緯　３５度１２分５９秒	標高　海抜１３０ｍ　（最高）
（世界測地系による）	東西最長　５．７㎞
	南北最長　５．６㎞

尾張旭市は、愛知県の北西部、濃尾平野の東部にあり、尾張丘陵とこれを開析した矢田川の流域に広がっています。東部に瀬戸市、西部及び北部に名古屋市、南部に長久手市と接し、その市域は、東西5.7㎞、南北5.6㎞、面積は21.03㎢で、名古屋の中心部からおよそ15㎞という通勤、通学などに恵まれた位置にあります。

本市の地形は、北部の丘陵地帯、中央部の沖積平野、南部の洪積台地に分けることができます。北部丘陵は、森林公園に代表されるように緑地帯が多く、ため池が大小いくつか見受けられ、市内を東西に流れる矢田川の右岸は、肥沃な沖積平野となっており、また、左岸の本地ヶ原では、古期洪積層の堆積面がよく残存しており、三段の段丘面が広がっています。

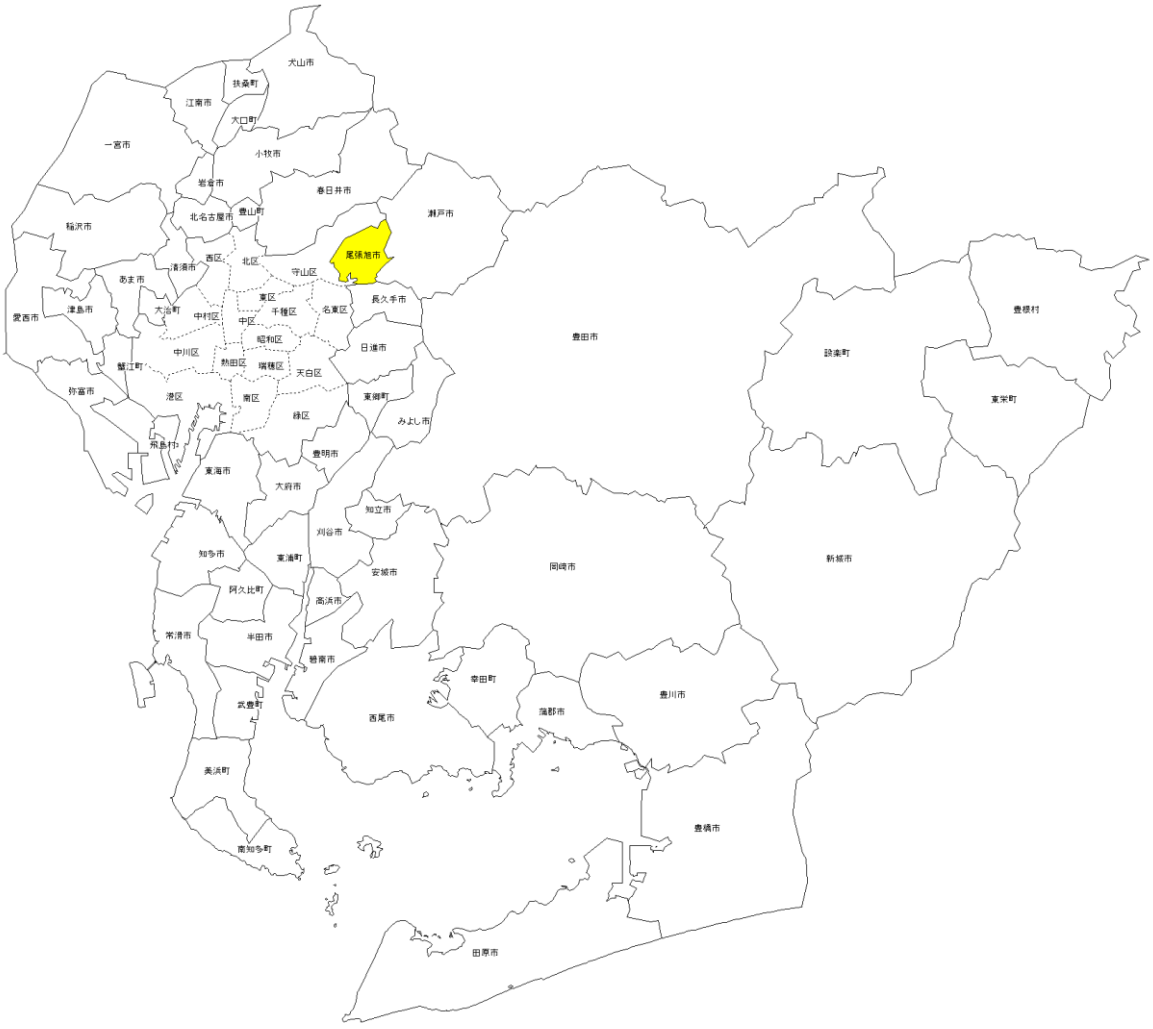
また、南部、北部丘陵の地質は、新生代第三紀鮮新世に属する堆積層で、瀬戸層郡矢田川累層と呼ばれ、れき層、砂層、シルト層を主体として、火山灰や亜炭層を伴っています。丘陵部によって囲まれた低地は、矢田川の開析によってできた平地部であり、沖積層が堆積しています。

本市の地質の特徴は、ほぼ水平構造であるため、断層、しゅう曲が少ないということと、ほとんどの地盤が洪積層で占められているため、矢田川両岸の沖積砂層の比較的厚い氾濫原を除いては、重量構造物の建造に比較的向いています。

愛 知 県 行 政 図

（令和4年3月現在）

国土地理院承認 平14総複 第149号



愛知県

※この地図は、ソフトウェア「白地図KenMap」の地図画像を編集したものです。